

平成28年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 スポーツ振興 課

1. 基本情報

1404

施設名	伊丹市立伊丹スポーツセンター 体育館		
施設の設置目的	市民の体育、スポーツおよびレクリエーションの振興と心身の健全な発達を図ることにより、市民福祉の増進に寄与するため。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標：未来を担う人が育つまち 施策目標：ライフステージごとに学び活躍する人づくり 主要施策：生涯スポーツの推進		
指定管理者の名称	公益財団法人伊丹スポーツセンター (団体の住所又は所在地) 伊丹市鴻池1丁目1番1号		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	体育館利用者人数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間の体育館棟利用者人数（工事期間を除く）	
	今年度の目標値	50,607	今年度の実績値 48,231

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H24	H25	H26	H27	H28 (上期)	H28 (通期)
	体育館貸館利用者数	-	-	-	-	-	37,587	42,295
	体育館教室開講数	-	-	-	-	-	34	34
	体育館教室受講者数	-	-	-	-	-	5,834	5,834
	託児	-	-	-	-	-	102	102

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

〈単位:千円〉

	区分	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	3ヵ年平均
指定管理者の収支	収入	使用料収入	-	9,552	9,552
		事業収入	-	7,179	7,179
		その他	-	0	0
		指定管理委託料	-	133	133
		①合計	0	16,864	16,864
	支出	維持管理	-	-	-
		光熱水費	-	1,667	1,667
		清掃等委託料	-	1,900	1,900
		土地建物賃料	-	0	0
		修繕料	-	1,182	1,182
		運営	-	-	-
		人件費	-	4,494	4,494
		事業等経費	-	6,722	6,722
		その他	-	1,861	1,861
		指定管理納付金	-	0	0
		②合計	0	17,826	17,826
	純収支 (①-②)		0	△ 962	△ 962

施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ 〈単位:千円〉		H23	H24	H25	H26	H27	H28
	市の収入	-	-	-	-	-	618
	(内、使用料収入)	-	-	-	-	-	0
	市の支出	-	-	-	-	-	1,150
	(内、指定管理委託料)	-	-	-	-	-	133
	実質経費 (歳出-歳入)	-	-	-	-	-	532

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		(具体的内容)	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的に実施し、常に清潔に保たれているか。	A	日々の清掃を現場及び日報によって確認し、チェックしている。施設点検は、体育館及びセンター内施設全般で総合的に実施し、情報共有している。また、修繕箇所は市担当課と協議を行い、迅速に対応している。	A	協定書・仕様書に基づき、概ね適正に管理業務を行っており、利用者の意見や環境に配慮した運営を行っている。備品購入についての意思決定の部分や、耐震工事関連の修繕については改善すべき点がある。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	A		A	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	A		C	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	A		C	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	A	防災・防火管理者の指導の下、消防訓練を年2回実施。応急手当普及指導資格を更新し、職員研修を実施している。また、水難訓練も年1回実施している。	B	有資格者による訓練を実施し、緊急時に備えた体制を整えている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	A		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	A	自衛消防隊、伊丹スポーツセンター震災対策、災害時配備計画に基づき、緊急対応に対する要綱等の制定、訓練を実施している。	B	災害時や緊急時に対応できるよう、避難訓練の実施や要綱等の制定を実施している。実施報告も迅速に行っている。
		避難訓練を実施しているか。	A		A	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	定期的な研修(接遇・クレーム対応・救命救命等)を実施し、苦情やトラブル、また事故等迅速かつ正確に対応できるよう、情報の共有化、指示系統の確立に努めた。3月に行われたなぎなた大会に向けて、スムーズに実施できるように努めた。	B	定期的な研修を実施することにより、職員間で情報共有し、適切な対応ができるよう取り組んでいる。施設内の利用状況については、管理体制の強化が必要。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A		C	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	幅広い世代を対象にした教室を開講し、好評を得た。	A	多様な教室事業を実施し、積極的な事業展開を行っている。
		施設の設定目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	A	申請書類等は文書分類種類別に保管し、PCセキュリティを適切に行っている。また、教室の空き情報や駐車場の混雑状況など随時更新し、ご利用者へ情報提供している。	B	広報伊丹、財団が発行している広報紙、HP等により積極的な情報提供を行っている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	A		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	A	公認会計士を顧問とし、適切に会計処理を行っている。	A	仕様書に基づき適切な会計処理が行われている。
		経理処理は、適切に行っているか。	A		A	

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「－」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	前期に引き続き、耐震改修工事があり通常運営が難しい期間だったが、指定管理者である財団が蓄積してきたノウハウを生かし、概ね適正な施設運営を行った。翌年度は、この1年間の指定管理者の経験を生かしてさらに円滑な施設運営ができるよう、日々業務改善を推進してほしい。
総合評価	
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成28年5月1日～平成28年6月30日(7月から翌3月15日迄工事のため実施1回)

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	【教室】指導スタッフの接遇態度はいかがですか。 「満足」41%・「やや満足」26%・「普通」31%・「やや不満」1.7%・「不満」0.3%	今後も接遇研修等を実施し、ホスピタリティの向上に努める。
	【窓口】窓口スタッフの接遇態度はいかがですか。 「満足」39%・「やや満足」32%・「普通」27%・「やや不満」1%・「不満」1%	「普通」や「不満」と感じている方に満足していただけるよう、 「相手の立場に立った」接客を心掛ける。
回答者数	1211	
	【施設】施設の修繕等についていかがですか。 施設修繕に対する対応が遅い。	市の担当部局と協議しながら、迅速に対応し、ご利用者の満足度に繋げる。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
維持管理業務の実施の中で、備品購入について十分に協議がなされなかった。また、耐震改修工事における現状調査および改善について対応が不十分な点があった。	今後は市と十分に協議を行った上で、施設が円滑に運営できるよう対応を行う。
施設使用実態について、公平性の観点から一部は正が必要。	現状調査を行った上で、施設使用については是正が必要な分については対応する。